

会員便り

沖縄県久米島での「第52回全国ホテル研究会」を終えて

第52回全国ホテル研究会
沖縄県久米島大会実行委員会事務局長 山城 勇人

平成最後の月となった4月19日から21日の3日間、沖縄県久米島町で第52回全国ホテル研究会沖縄県久米島大会を開催しました。全国各地から80名の会員の他、地元・関係者含め、多くの皆様のお力添えにより、なんとか無事に大会を終えることができました。

平成30年3月より、久米島博物館・久米島ホテル館・久米島ホテルの会・町役場・観光協会・商工会・新興通り会・他有志の個人で久米島大会実行委員会を組織し、町長を実行委員長に文字通り全町体制で準備を進めてまいりました。本大会は、平成15年以来、16年ぶり2度目の久米島大会とあって、前回以上の大会を目指して取組みを進めてまいりました。

初日はまず、前回の全国ホテル大会開催を契機に始まった「ホテル祭り」で、是非地元との交流を楽しんでもらいたいとの思いからスケジュールを組みました。引き続きの予定となっていたホテル観察会は、クメジマボタルの発生状況が悪く、急きょ会場を変更する運びとなりましたが、本年の観察会場のホテル館では、クメジマボタルの他、オキワスジボタル、クロイワボタルの3種が同時に飛び交うという、願ってもない状況に多くの皆様が喜んでおられたのが印象的でした。

二日目の研究発表では午前の部は久米島側から、午後の部は研究会会員の皆様の発表があり、計8組の発表がなされました。中でも印象的だったのは、名古屋からお越しいただいた劇団シンデレラ・久米島ホタレンジャーによる創作劇、「ホテルが町にやってきた」でした。久米島が抱えるホテルを取り巻く諸問題に真剣に向かい合い、演じてくれました。

夕方からの交流・懇親会も天候不良により野外会場から屋内へと変更になりました。会場も狭く、少々窮屈な配置となりましたが、町内小中高生による琉球民謡、現代版組踊、エイサー等の舞台は臨場感に溢れ、大いに盛り上がった交流会となりました。最後に、次回開催地京都での成功を願いつつ、今大会全国から参加なされた皆様、そしてご協力いただいた各位に御礼申し上げ報告と致します。



第52回全国ホテル研究会大会報告

1. 研究大会の概要

(1) 概要

全国ホテル研究会の第52回大会が平成31年（2019年）4月19～21日の3日間、沖縄県久米島町にて開催され、全国各地から80名のご参加をいただき、盛大に開催されました。久米島での大会は、平成15年（2003年）の第36回大会以来、16年ぶりの開催となります。

主催：全国ホテル研究会

主管：第52回全国ホテル研究会沖縄県久米島大会実行委員会

共催：久米島町 久米島町教育委員会 久米島ホテルの会 新興通り会

後援：環境省 沖縄県 沖縄県教育委員会 久米島町議会 久米島町校長会 久米島商工会
久米島町観光協会 久米島漁業協同組合 JAおきなわ久米島支店
久米島紬事業協同組合 FMくめじま 琉球新報社 沖縄タイムス社 沖縄電力株式会社
沖縄観光コンベンションビューロー 日本トランスオーシャン航空株式会社
久米商船株式会社

4月19日（金）

15時より久米島ホテル館にて受付が始まりました。受付後は久米島ホテル館の見学を行いました。また、じんじんロードで開催される地元のホテル祭りに参加しました。

19時30分より久米島ホテル館にてホテルの観察会が行われました。クメジマボタルは日本で最も絶滅の危機に瀕しているホテルです。今年は発生状況が悪いということでしたが、当日は今シーズン一番の発生状況で全国の参加者を迎えてくれました。クメジマボタルの他、オキナワスジボタルやクロイワボタルの3種類のホテルが同時に飛翔する様子は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

4月20日（土）

第52回全国ホテル研究会沖縄県久米島大会が開会されました。遊磨会長の主催者挨拶、大田実行委員長、環境省沖縄奄美自然環境事務所の東岡礼治所長による歓迎挨拶の後、来賓の紹介と祝辞がなされました。

午前は地元団体による3題の研究発表と1本の演劇が行われました。また、午後は会員による4題の研究発表が行われました。

総会では第53回の開催が京都府京都市であることを確認しました。

交流・懇親会では吉野副委員長の挨拶と幸地猛久米島町議会議長の乾杯で交流・懇親会が始まりました。歓迎アトラクションでは沖縄県の伝統芸能である琉球民謡や現代版組踊、エイサーが行われ、懇親会は熱気にあふれていました。次期開催地である京都府京都市に大会旗の受け

渡しがあり、次期開催地を代表して京都ほたるネットワークの西野伸氏の挨拶が行われました。

4月21日（日）

各自地域観光を行い解散となりました。

（2）会場

4月19日（金） 沖縄県久米島町 久米島ホテル館

4月20日（土） 沖縄県久米島町 具志川農村環境改善センター

（3）大会日程

4月19日（金）

- 15：00～17：00 参加者受付
- 17：00～19：00 久米島ホテル館見学、ホテル祭りへの参加
- 19：00～19：30 ホテル観察会会場へ移動
- 19：30～20：30 久米島ホテル館にてホテル観察会

4月20日（土）

- 9：00～ 9：30 参加者受付（2日目からの参加者のみ）
- 9：30～ 9：45 第52回全国ホテル研究会沖縄県久米島大会
開会式
遊磨 正秀（全国ホテル研究会会長）
大田 治雄（沖縄県久米島大会実行委員会実行委員長、久米島町長）
東岡 礼治（環境省沖縄奄美自然環境事務所所長）
来賓紹介・祝辞、祝電披露
- 9：45～12：00 **【研究発表Ⅰ】**
 - ①「久米島ホタレンジャー、
ホテルを守るために島の自然を楽しく学び保全する活動発表」
國吉 朝陽・富山 心・仲宗根 星斗・當間 彪真・小川 陽翔・
當間 七星・近藤 脩平・山里 穂高・國吉 甚希・吉永 蹄・吉永 寵
 - ②「久米島のサワガニ研究発表」
佐藤 智映（久米島ホタレンジャー）
 - ③「ホテルが町にやってきた」
劇団シンデレラ&ホタレンジャーOG/OB
 - ④「久米島のホテルを取り巻く環境とその現状について」
佐藤 文保（久米島ホテル館）
- 13：00～15：50 **【研究発表Ⅱ】**
 - ①「守山市ほたるの森資料館におけるゲンジボタルの飼育状況
ー幼虫ふ化から、羽化、成虫及び死までー」

並河 聰・加村 賀勇（滋賀県）

- ②「京都市内10か所におけるホタル成虫の発生量の年変動ならびに生残率（2010～2018年）」

遊磨 正秀（滋賀県）・西野 伸・京都ほたるネットワーク（京都府）

- ③「クメジマボタルとゲンジボタルの違い」

草桶 秀夫（福井県）

- ④「クメジマボタルの集団産卵

ーゲンジボタルとの比較から見えてきた進化の謎」

大場 信義（神奈川県）

16：00～17：00 第52回全国ホタル研究会総会

18：00～20：30 交流・懇親会

- ①開会・歓迎の挨拶

吉野 剛（沖縄久米島大会実行委員会副委員長、久米島町教育委員会教育長）

幸地 猛（久米島町議会議長）

- ②歓迎アトラクション

・琉球民謡グループ「むみん小花」

・久米島現代版組踊「月光の若茶良」

・登武那覇太鼓

- ③懇親・交流会

- ④次会大会引継ぎ式

西野 伸（京都ほたるネットワーク）

- ⑤閉会の挨拶

4月21日（日）

地域観光



劇団シンデレラ

&ホタルレンジャーOG/OB



研究発表 1



研究発表 2



久米島ホテル館の見学



大会旗の受け渡し



盛り上がる懇親会